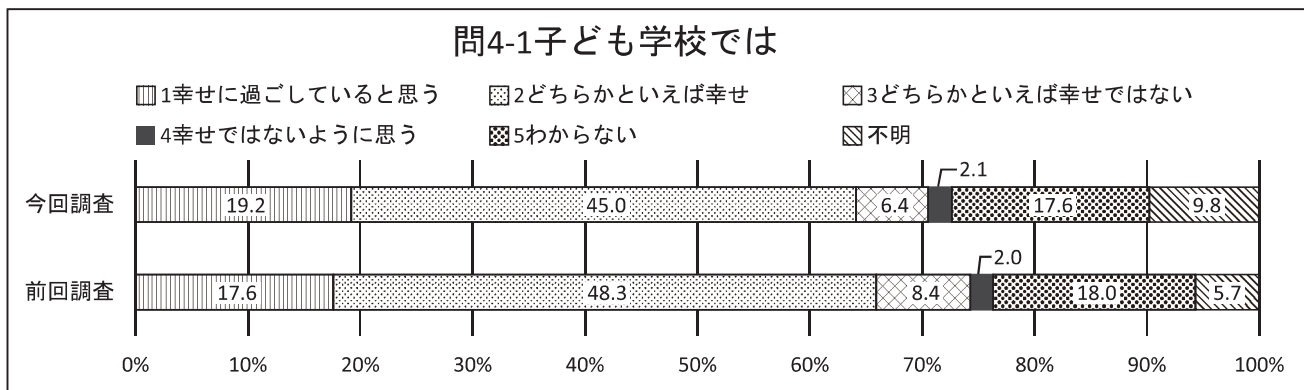


問4-1子ども家庭では×問8-1小学校で人権教育を受けたか							
上段:度数		問4-1子ども家庭では					
下段:%		合計	幸せに過ごしていると思う	どちらかといえば幸せ	どちらかといえば幸せではない	幸せではないように思う	5わからない
問8-1小学校で人権教育を受けたか	全体	1724	610	819	64	20	211
		100.0	35.4	47.5	3.7	1.2	12.2
	1.かなり学んだ	141	55	60	7	3	16
		100.0	39.0	42.6	5.0	2.1	11.3
	2.少し学んだ	875	300	441	30	10	94
		100.0	34.3	50.4	3.4	1.1	10.7
	3.全く学んでいない	673	239	310	27	7	90
		100.0	35.5	46.1	4.0	1.0	13.4
	4.行っていない	35	16	8	-	-	11
		100.0	45.7	22.9	-	-	31.4

小学校で人権教育を少し学んだ人でどちらかといえば幸せが多くなっています。

(2)子ども 学校では

No.	カテゴリ	問4-1子ども学校では (SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	幸せに過ごしていると思う	383	19.2	17.6	21.3
2	どちらかといえば幸せに過ごしていると思う	899	45.0	48.3	49.9
3	どちらかといえば幸せではない	127	6.4	8.4	7.1
4	幸せではないように思う	41	2.1	2.0	2.3
5	わからない	351	17.6	18.0	19.5
	不明	195	9.8	5.7	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1801



子どもの様子について、学校では、幸せに過ごしているように思う19.2%(17.6%)、どちらかといえば幸せなように思う45.0%(48.3%)、どちらかといえばあまり幸せではないように思う6.4%(8.4%)、幸せではないように思う2.1%(2.0%)、わからない17.6%(18.0%)、不明(無記入)9.8%(5.7%)です。

前回と比べ、大きな変化はありません。

性別、年齢別、職業別、高校で人権教育を受けたか、広報紙で人権関係の記事を読んだことがあるか、人権課題の映画・テレビ・ラジオを視聴したか、人権課題の講演会・研修・学習会に参加したかに関連しています。人権課題の講演会・研修・学習会に参加したか、広報紙で人権関係の記事を読んだか、高校で人権教育を受けたかと強い関連があります。

問4-1子ども学校では×問8-4人権各課題についての講演会・研修・学習会に何回参加したか							
上段:度数		問4-1子ども学校では					
下段:%		合計	幸せに過ごしていると思う	どちらかといえば幸せ	どちらかといえば幸せではない	幸せでないように思う	5わからない
問8-4人権各課題についての講演会・研修・学習会に何回参加したか	全体	1769	376	882	127	39	345
		100.0	21.3	49.9	7.2	2.2	19.5
	1回もない	826	177	356	68	21	204
		100.0	21.4	43.1	8.2	2.5	24.7
	1~2	443	84	247	27	8	77
		100.0	19.0	55.8	6.1	1.8	17.4
	3~4	193	51	109	13	4	16
		100.0	26.4	56.5	6.7	2.1	8.3
	5~6	99	21	57	8	1	12
		100.0	21.2	57.6	8.1	1.0	12.1
	7~9	28	5	16	1	-	6
		100.0	17.9	57.1	3.6	-	21.4
10回以上	180	38	97	10	5	30	
	100.0	21.1	53.9	5.6	2.8	16.7	

人権関係の講演会・研修・学習会に参加したことがない人でどちらかといえば幸せが少なく、わからないが多く、1~2回参加した人でどちらかといえば幸せが多くなっています。

問4-1子ども学校では×問8-2広報紙の記事を読んだことがあるか							
上段:度数		問4-1子ども学校では					
下段:%		合計	幸せに過ごしていると思う	どちらかといえば幸せ	どちらかといえば幸せではない	幸せでないように思う	5わからない
問8-2広報紙の記事を読んだことがあるか	全体	1754	376	876	125	39	338
		100.0	21.4	49.9	7.1	2.2	19.3
	1.読んだことがある	1173	242	624	88	15	204
		100.0	20.6	53.2	7.5	1.3	17.4
	2.読んだことがない	487	116	220	31	20	100
		100.0	23.8	45.2	6.4	4.1	20.5
	3.広報紙を見たことがない	94	18	32	6	4	34
		100.0	19.1	34.0	6.4	4.3	36.2

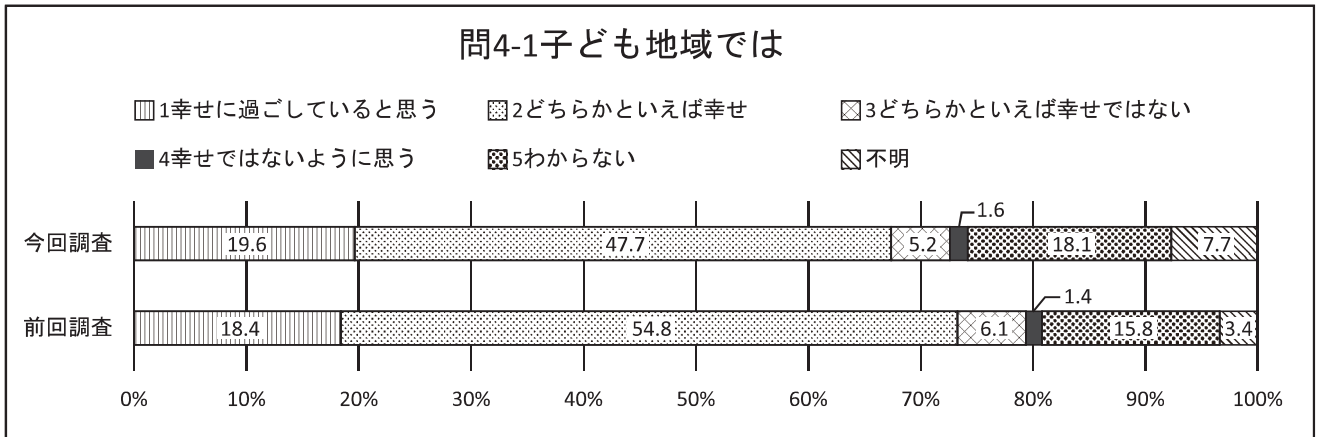
広報紙の人権関連記事を読んだことがある人でどちらかといえば幸せが多く、幸せではないが少なくなっています。読んだことがない人でどちらかといえば幸せが少なく幸せではないが多く、広報紙を見たことがない人でどちらかといえば幸せが少なく、わからないが多くなっています。

問4-1子ども学校では×問8-1高等学校で人権教育を受けたか							
上段:度数		問4-1子ども学校では					
下段:%		合計	幸せに過ごしていると思う	どちらかといえば幸せ	どちらかといえば幸せではない	幸せでないように思う	5わからない
問8-1高等学校で人権教育を受けたか	全体	1644	342	832	115	36	319
		100.0	20.8	50.6	7.0	2.2	19.4
	1.かなり学んだ	64	19	28	3	4	10
		100.0	29.7	43.8	4.7	6.3	15.6
	2.少し学んだ	788	158	443	49	18	120
		100.0	20.1	56.2	6.2	2.3	15.2
	3.全く学んでいない	680	135	327	59	10	149
		100.0	19.9	48.1	8.7	1.5	21.9
	4.行っていない	112	30	34	4	4	40
		100.0	26.8	30.4	3.6	3.6	35.7

高校で人権教育をかなり受けた人で幸せではないように思うが多く、少し学んだ人でどちらかといえば幸せが多く、わからないが少なくなっています。全く学んでない人でどちらかといえば幸せではないとわからないが多くなっています。

(3)子ども 地域では

No.	問4-1子ども地域では カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	幸せに過ごしていると思う	392	19.6	18.4	21.3
2	どちらかといえば幸せ	953	47.7	54.8	51.7
3	どちらかといえば幸せではない	104	5.2	6.1	5.6
4	幸せではないように思う	31	1.6	1.4	1.7
5	わからない	362	18.1	15.8	19.7
	不明	154	7.7	3.4	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1842



子どもの様子について、地域(家庭や学校以外)では、幸せに過ごしているように思う19.6%(18.4%)、どちらかといえば幸せなように思う47.7%(54.8%)、どちらかといえばあまり幸せではないように思う5.2%(6.1%)、幸せではないように思う1.6%(1.4%)、わからない18.1%(15.8%)、不明(無記入)7.7%(3.4%)です。

前回と比べると、どちらかといえば幸せなように思うがやや減っています。

性別、年齢別、職業別、高校で人権教育を受けたか、広報紙で人権関係の記事を読んだことがあるか、人権課題の映画・テレビ・ラジオを視聴したか、人権課題の講演会・研修・学習会に参加したかと関連しています。広報紙で人権関係の記事を読んだか、人権課題の講演会・研修・学習会に参加したか、職業別、高校で人権教育を受けたかと強い関連があります。

上段:度数		問4-1子ども地域では					
下段:%		合計	幸せに過ごしていると思う	どちらかといえば幸せ	どちらかといえば幸せではない	幸せでないように思う	5わからない
問8-2 広報紙 の記事 を読ん だこと があるか	全体	1792	384	927	103	29	349
		100.0	21.4	51.7	5.7	1.6	19.5
	1.読んだことがある	1199	237	678	72	15	197
		100.0	19.8	56.5	6.0	1.3	16.4
	2.読んだことがない	500	127	216	28	12	117
		100.0	25.4	43.2	5.6	2.4	23.4
3.広報紙を見たことがない	93	20	33	3	2	35	
	100.0	21.5	35.5	3.2	2.2	37.6	

広報紙の人権関連記事を読んだことがある人でどちらかといえば幸せが多く、幸せだと思う、わからないが少なくなっています。人権関連記事を読んだことがない人で幸せに過ごしているが多く、広報紙を見たことがない人でわからないが多くなっています。

問4-1子ども地域では×問8-4人権各課題についての講演会・研修・学習会に何回参加したか							
上段:度数		問4-1子ども地域では					
下段:%		合計	幸せに過ごしていると思う	どちらかといえば幸せ	どちらかといえば幸せではない	幸せでないように思う	5わからない
問8-4人権各課題についての講演会・研修・学習会に何回参加したか	全体	1808	385	935	103	30	355
		100.0	21.3	51.7	5.7	1.7	19.6
	1回もない	857	193	392	49	12	211
		100.0	22.5	45.7	5.7	1.4	24.6
	1~2	445	85	252	24	6	78
		100.0	19.1	56.6	5.4	1.3	17.5
	3~4	199	46	117	15	2	19
		100.0	23.1	58.8	7.5	1.0	9.5
	5~6	98	23	57	5	3	10
		100.0	23.5	58.2	5.1	3.1	10.2
	7~9	29	5	16	1	-	7
		100.0	17.2	55.2	3.4	-	24.1
	10回以上	180	33	101	9	7	30
		100.0	18.3	56.1	5.0	3.9	16.7

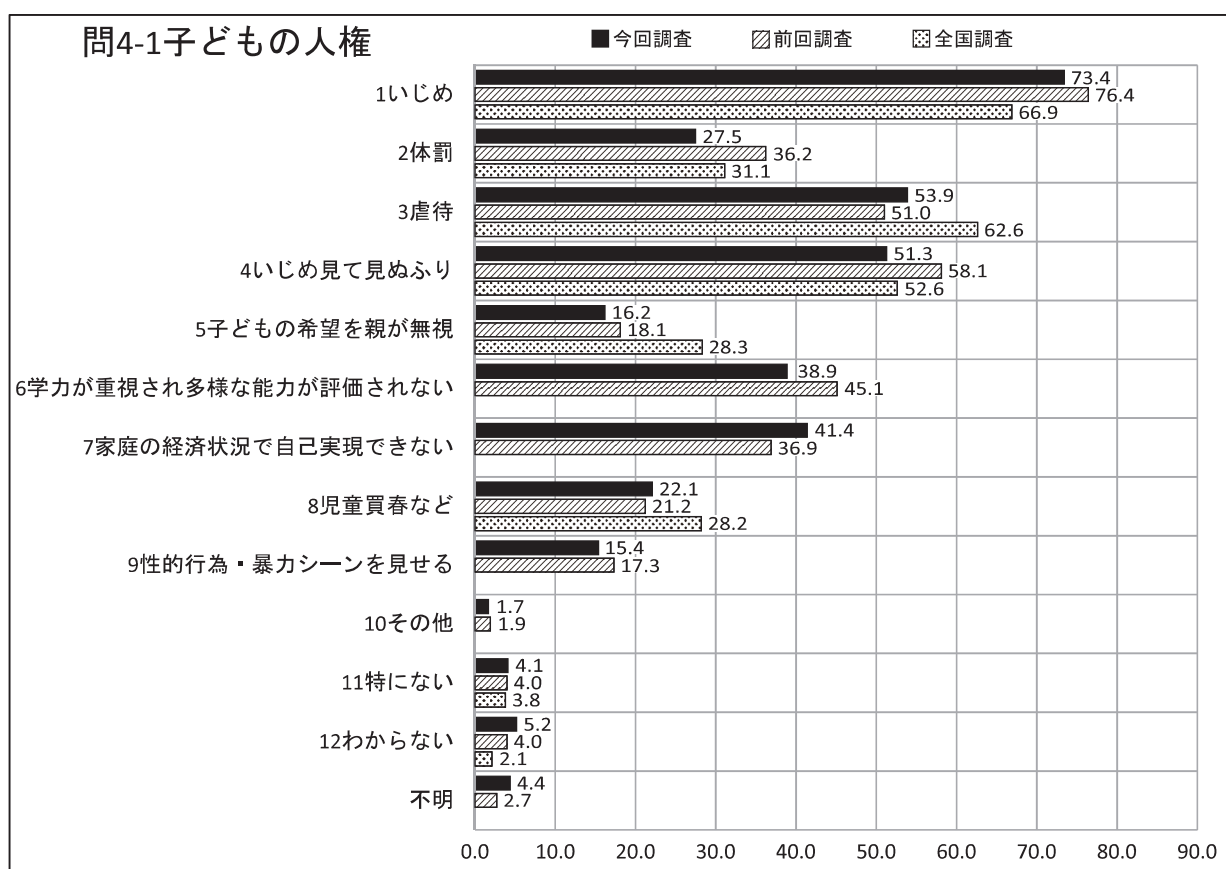
人権関係の講演会・研修・学習会に参加したことがない人でどちらかといえば幸せが少なく、わからないが多くなっています。1~2回参加した人と3~4回参加した人でどちらかといえば幸せが多くなっています。10回以上参加した人で幸せではないように思うが多くなっています。

問4-1子ども地域では×F3職業							
上段:度数		問4-1子ども地域では					
下段:%		合計	幸せに過ごしていると思う	どちらかといえば幸せ	どちらかといえば幸せではない	幸せでないように思う	5わからない
F3職業	全体	1815	388	938	103	30	356
		100.0	21.4	51.7	5.7	1.7	19.6
	1.自営業	217	54	113	11	5	34
		100.0	24.9	52.1	5.1	2.3	15.7
	2.企業・正社員	437	91	227	25	10	84
		100.0	20.8	51.9	5.7	2.3	19.2
	3.契約・派遣社員	57	8	33	4	-	12
		100.0	14.0	57.9	7.0	-	21.1
	4.公務員	67	8	34	8	1	16
		100.0	11.9	50.7	11.9	1.5	23.9
	5.教職員	38	11	23	1	1	2
		100.0	28.9	60.5	2.6	2.6	5.3
	6.臨時・パート・アルバイト	266	54	141	11	4	56
		100.0	20.3	53.0	4.1	1.5	21.1
	7.家事専業	348	87	174	16	4	67
		100.0	25.0	50.0	4.6	1.1	19.3
	8.無職	253	47	130	17	1	58
		100.0	18.6	51.4	6.7	0.4	22.9
	9.学生	26	4	16	1	-	5
		100.0	15.4	61.5	3.8	-	19.2
10.その他	106	24	47	9	4	22	
	100.0	22.6	44.3	8.5	3.8	20.8	

公務員でどちらかといえば幸せではないが多く、教職員でわからないが少なくなっています。

(4)子どもの人権問題

No.	問4-1子どもの人権	(MA)				全国調査
	カテゴリ	件数	(全体)%	前回調査	(除不)%	
1	いじめ	1465	73.4	76.4	76.7	66.9
2	体罰	548	27.5	36.2	28.7	31.1
3	虐待	1076	53.9	51.0	56.4	62.6
4	いじめ見て見ぬふり	1023	51.3	58.1	53.6	52.6
5	子どもの希望を親が無視	323	16.2	18.1	16.9	28.3
6	学力が重視され多様な能力が評価されない	777	38.9	45.1	40.7	
7	家庭の経済状況で自己実現できない	826	41.4	36.9	43.3	
8	児童買春など	441	22.1	21.2	23.1	28.2
9	性的行為・暴力シーンを見せる	307	15.4	17.3	16.1	
10	その他	33	1.7	1.9	1.7	
11	特になし	81	4.1	4.0	4.2	3.8
12	わからない	104	5.2	4.0	5.4	2.1
	不明	87	4.4	2.7		
	N(%ベース)	1996	100	100	1909	



子どもに関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか、次の中からいくつでも選んでくださいという質問では、いじめを受けること73.4%(前回76.4%)、虐待を受けること53.9%(51.0%)、いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事51.3%(58.1%)、家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと41.4%(36.9%)、学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと38.9%(45.1%)、体罰を受けること27.5%(36.2%)、児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象になること22.1%(21.2%)、進学先や就職先などについての子ども本人の希望を大人が無視すること16.2%(18.1%)、性的行為や暴力シーン子どもに見せること15.4%(17.3%)、その他1.7%(1.9%)、特になし4.1%(4.0%)、わからない5.2%(4.0%)、不明(無記入)4.4%(2.7%)となっています。いじめを受けること、いじめを見て見ぬふりをする事、虐待を受けることが多いです。前回と比べると、いじめを受けること、学力重視で多様な能力が評価されない、体罰を受けることが少なくなっています。家庭の経済状況で自己実現できないことが多くなっています。

不明を除き、全国調査と比べると、いじめを受けること76.7%(全国66.9%)が多く、虐待を受けること56.4%(62.6%)と、子どもの希望を親が無視16.9%(28.3%)が少ないようです。

問4-1子どもの人権 × F1性別 + F2年齢 + F3職業

%		問4-1子どもの人権												
		合計	1いじめ	2体罰	3虐待	4いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふり	5子どもの希望を大人が無視	6学力が重視され多様な能力が評価されない	7家庭の経済状況で自己実現できない	8児童買春・児童ポルノなど	9性的行為・暴力シーンを見せる	10その他	11特にない	12わからない
F1 性別	全体	1909	76.7	28.7	56.4	53.6	16.9	40.7	43.3	23.1	16.1	1.7	4.2	5.4
	男性	814	76.5	26.5	52.5	52.3	15.2	39.7	40.4	21.1	13.1	1.7	4.9	4.7
	女性	1043	77.1	30.4	59.7	55.1	18.2	41.6	45.8	24.9	18.6	1.6	3.5	5.9
F2 年齢	全体	1909	76.7	28.7	56.4	53.6	16.9	40.7	43.3	23.1	16.1	1.7	4.2	5.4
	18～19	16	68.8	12.5	50.0	31.3	31.3	43.8	43.8	18.8	12.5	-	-	6.3
	20～29	104	82.7	34.6	70.2	65.4	33.7	36.5	49.0	19.2	18.3	1.0	1.0	2.9
	30～39	212	80.2	30.2	67.9	61.3	25.0	39.2	51.4	25.5	17.0	2.8	2.4	1.9
	40～49	265	77.0	26.4	57.4	57.0	21.9	39.2	49.1	30.2	18.1	1.5	3.8	4.5
	50～59	322	81.7	30.4	59.6	59.3	16.8	45.0	49.1	24.5	14.9	1.6	2.8	3.1
	60～69	392	81.6	31.9	58.7	54.6	13.3	46.9	42.9	21.4	15.8	0.8	3.1	2.8
	70～79	354	70.3	27.4	45.8	50.0	12.4	41.5	35.3	21.5	15.8	2.5	7.1	8.2
	80以上	214	65.0	22.9	46.7	34.1	8.9	27.6	31.3	16.8	14.5	2.3	8.4	15.0
F3 職業	全体	1909	76.7	28.7	56.4	53.6	16.9	40.7	43.3	23.1	16.1	1.7	4.2	5.4
	1.自営業	226	73.5	27.0	50.0	51.3	11.9	38.5	36.3	20.8	15.0	1.8	5.8	4.4
	2.企業・正社員	437	82.4	27.5	62.2	59.3	20.8	40.3	46.9	23.6	14.9	1.6	2.5	2.5
	3.契約・派遣社員	56	76.8	30.4	60.7	53.6	25.0	44.6	51.8	26.8	26.8	1.8	-	1.8
	4.公務員	69	78.3	20.3	60.9	47.8	21.7	43.5	47.8	24.6	14.5	-	1.4	2.9
	5.教職員	38	84.2	34.2	76.3	44.7	15.8	60.5	73.7	39.5	28.9	5.3	-	-
	6.臨時・パート・アルバイト	268	80.2	30.6	62.7	63.4	17.2	44.0	49.6	23.5	15.3	1.9	3.4	1.9
	7.家事専業	362	77.9	36.2	58.8	50.8	17.7	42.5	45.3	27.1	20.4	1.4	4.1	7.5
	8.無職	277	70.0	22.4	43.3	46.6	11.2	34.3	34.7	16.6	11.9	1.1	7.9	10.8
	9.学生	26	76.9	19.2	57.7	42.3	23.1	34.6	42.3	15.4	3.8	-	-	3.8
10.その他	118	66.9	29.7	47.5	51.7	16.1	41.5	32.2	20.3	16.1	4.2	6.8	11.0	

虐待について、家庭の経済状況で自己実現できない、性的行為・暴力シーンを見せるが、男性より女性で多くなっています。

いじめが20歳代・30歳代・50歳代・60歳代で多く、体罰が20歳代で多く、虐待が20歳代・30歳代で多くなっています。いじめを見て見ぬふりが20歳代・30歳代・50歳代で多く、子どもの希望を親が無視が18～19歳・20歳代・30歳代・40歳代で多くなっています。学力が重視され多様な能力が評価されないは60歳代で、家庭の経済状況で自己実現できないは20歳代・30歳代・40歳代・50歳代で多くなっています。児童買春は40歳代で多くなっています。性的行為・暴力シーンを見せるは20歳代・40歳代で多くなっています。

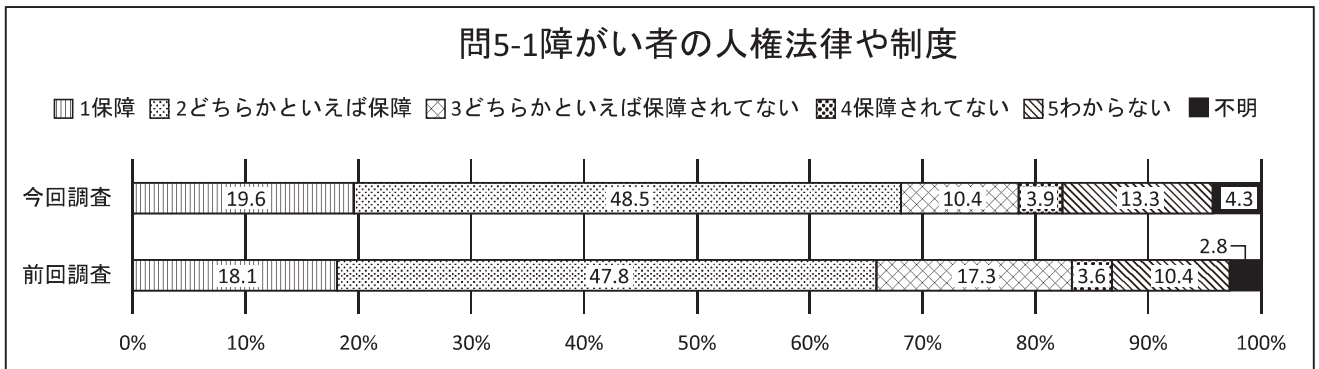
いじめについて教職員、企業の正社員で多く、体罰は家事専業、教職員で、虐待は教職員、企業の正社員、臨時・パート・アルバイトで多くなっています。いじめを見て見ぬふりは企業の正社員、臨時・パート・アルバイトで、子どもの希望を親が無視は正社員で、学力が重視され多様な能力が評価されないは教職員、家庭の経済状況で自己実現できないは教職員、契約・派遣社員、臨時・パート・アルバイトで多くなっています。児童買春は教職員、性的行為・暴力シーンを見せるは教職員、契約・派遣社員、家事専業で多くなっています。

7、障がい者の人権

障がい者の人権は保障されていると思いますかという質問について、保障されている・どちらかといえば保障されているあわせて、法律や制度の上では68.1%(前回65.9%)、日常生活では50.0%(43.8%)となっています。法律や制度の上、日常生活ともに保障されている、どちらかといえば保障されていると考える人が増えているようです。

(1)障がい者の人権法律や制度

No.	問5-1障がい者の人権法律や制度 カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	保障	391	19.6	18.1	20.5
2	どちらかといえば保障	968	48.5	47.8	50.7
3	どちらかといえば保障されてない	207	10.4	17.3	10.8
4	保障されてない	78	3.9	3.6	4.1
5	わからない	266	13.3	10.4	13.9
	不明	86	4.3	2.8	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1910



法律や制度の上では、保障されていると思う19.6%(18.1%)、どちらかといえば保障されていると思う48.5%(47.8%)、どちらかといえば保障されていないと思う10.4%(17.3%)、保障されていないと思う3.9%(3.6%)、わからない13.3%(10.4%)、不明(無記入)4.3%(2.8%)です。

前回と比べると、保障されていると思う、どちらかといえば保障されていると思うが少し増え、どちらかといえば保障されていないと思うが減っています。

性別、年齢別、職業別、中学校で人権教育を受けたか、広報紙で人権関係の記事を読んだかと関連しています。年齢別、中学校で人権教育を受けたか、広報紙で人権関係の記事を読んだか、職業別と強い関連があります。

問5-1障がい者の人権法律や制度 × F2年齢							
上段:度数		問5-1障がい者の人権法律や制度					
下段:%		合計	1保障されている	2どちらかといえば保障されている	3どちらかといえば保障されてない	4保障されてない	5わからない
F2年齢	全体	1882	382	955	205	76	264
		100.0	20.3	50.7	10.9	4.0	14.0
	18~19	16	2	8	1	1	4
		100.0	12.5	50.0	6.3	6.3	25.0
	20~29	105	29	41	14	3	18
		100.0	27.6	39.0	13.3	2.9	17.1
	30~39	214	41	104	18	12	39
		100.0	19.2	48.6	8.4	5.6	18.2
	40~49	268	49	127	36	12	44
		100.0	18.3	47.4	13.4	4.5	16.4
	50~59	325	64	168	40	14	39
		100.0	19.7	51.7	12.3	4.3	12.0
	60~69	397	76	201	55	16	49
		100.0	19.1	50.6	13.9	4.0	12.3
70~79	353	66	207	24	14	42	
	100.0	18.7	58.6	6.8	4.0	11.9	
80以上	204	55	99	17	4	29	
	100.0	27.0	48.5	8.3	2.0	14.2	

80歳以上で保障されている、70歳代でどちらかといえば保障されている60歳代でどちらかといえば保障されていないが多くなっています。20歳代でどちらかといえば保障されていないが少なくなっています。

問5-1障がい者の人権法律や制度×問8-1中学校で人権教育を受けたか							
上段:度数		問5-1障がい者の人権法律や制度					
下段:%		合計	1保障されている	2どちらかといえば保障されている	3どちらかといえば保障されていない	4保障されていない	5わからない
問8-1 中学校で人権教育を受けたか	全体	1750	359	890	190	70	241
		100.0	20.5	50.9	10.9	4.0	13.8
	1.かなり学んだ	99	30	45	8	3	13
		100.0	30.3	45.5	8.1	3.0	13.1
	2.少し学んだ	985	191	515	121	38	120
		100.0	19.4	52.3	12.3	3.9	12.2
	3.全く学んでいない	627	129	318	57	25	98
		100.0	20.6	50.7	9.1	4.0	15.6
	4.行っていない	39	9	12	4	4	10
		100.0	23.1	30.8	10.3	10.3	25.6

中学校で人権教育をかなり受けた人で保障されているが多く、少し学んだ人でどちらかといえば保障されていないが多くなっています。中学校に行っていない人で保障されていない・わからないが多くなっています。

問5-1障がい者の人権法律や制度×問8-2広報紙の記事を読んだことがあるか							
上段:度数		問5-1障がい者の人権法律や制度					
下段:%		合計	1保障されている	2どちらかといえば保障されている	3どちらかといえば保障されていない	4保障されていない	5わからない
問8-2 広報紙の記事を読んだことがあるか	全体	1847	376	940	202	76	253
		100.0	20.4	50.9	10.9	4.1	13.7
	1.読んだことがある	1237	246	663	141	44	143
		100.0	19.9	53.6	11.4	3.6	11.6
	2.読んだことがない	516	108	237	54	29	88
		100.0	20.9	45.9	10.5	5.6	17.1
	3.広報紙を見たことがない	94	22	40	7	3	22
100.0		23.4	42.6	7.4	3.2	23.4	

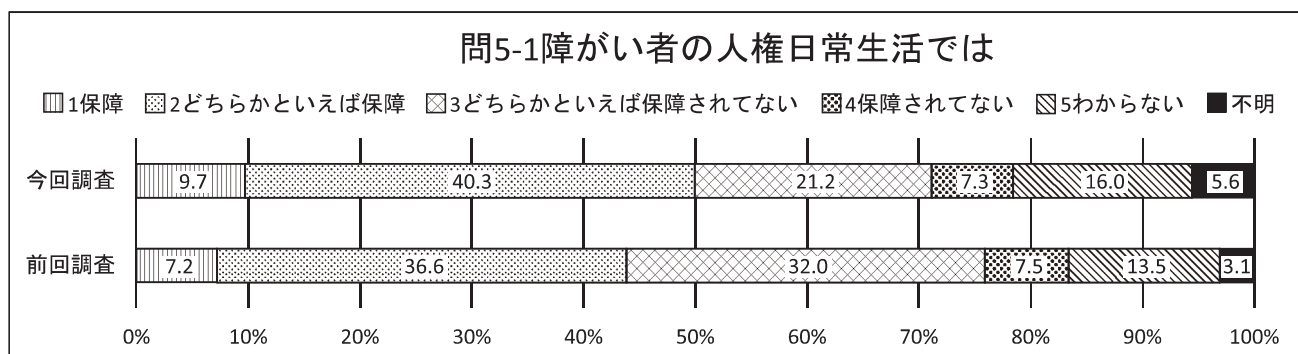
広報紙の記事を読んだ人でどちらかといえば保障されているが多く、読んだことがない人で保障されていないが多くなっています。広報紙を見たことがない人でわからないが多くなっています。

問5-1障がい者の人権法律や制度×F3職業							
上段:度数		問5-1障がい者の人権法律や制度					
下段:%		合計	1保障されている	2どちらかといえば保障されている	3どちらかといえば保障されていない	4保障されていない	5わからない
F3職業	全体	1878	378	958	204	77	261
		100.0	20.1	51.0	10.9	4.1	13.9
	1.自営業	227	54	128	17	5	23
		100.0	23.8	56.4	7.5	2.2	10.1
	2.企業・正社員	439	97	209	59	17	57
		100.0	22.1	47.6	13.4	3.9	13.0
	3.契約・派遣社員	57	11	27	6	4	9
		100.0	19.3	47.4	10.5	7.0	15.8
	4.公務員	69	9	45	8	2	5
		100.0	13.0	65.2	11.6	2.9	7.2
	5.教職員	37	6	19	9	-	3
		100.0	16.2	51.4	24.3	-	8.1
	6.臨時・パート・アルバイト	271	46	141	33	11	40
		100.0	17.0	52.0	12.2	4.1	14.8
7.家事専業	364	74	182	26	18	64	
	100.0	20.3	50.0	7.1	4.9	17.6	
8.無職	269	54	139	27	10	39	
	100.0	20.1	51.7	10.0	3.7	14.5	
9.学生	26	5	13	2	1	5	
	100.0	19.2	50.0	7.7	3.8	19.2	
10.その他	119	22	55	17	9	16	
	100.0	18.5	46.2	14.3	7.6	13.4	

教職員と企業の正社員でどちらかといえば保障されていない、公務員でどちらかといえば保障されているが多くなっています。家事専業でどちらかといえば保障されていないが少なく、わからないが多くなっています。

(2)障がい者の人権日常生活

No.	問5-1障がい者の人権日常生活では カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	保障	193	9.7	7.2	10.2
2	どちらかといえば保障	805	40.3	36.6	42.7
3	どちらかといえば保障されてない	423	21.2	32.0	22.4
4	保障されてない	145	7.3	7.5	7.7
5	わからない	319	16.0	13.5	16.9
	不明	111	5.6	3.1	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1885



日常生活では、保障されていると思う9.7%(前回7.2%)、どちらかといえば保障されていると思う40.3%(36.6%)、どちらかといえば保障されていないと思う21.2%(32.0%)、保障されていないと思う7.3%(7.5%)、わからない16.0%(13.5%)、不明(無記入)5.6%(3.1%)です。

前回と比べると、保障されていると思う、どちらかといえば保障されていると思うが少し増え、どちらかといえば保障されていないと思うが減っています。

性別、年齢別、職業別、中学校で人権教育を受けたか、広報紙で人権関係の記事を読んだかと関連があります。広報紙で人権関係の記事を読んだか、性別、年齢別と強い関連があります。

		問5-1障がい者の人権日常生活では × 問8-2 広報紙の記事を読んだことがあるか					
上段:度数		問5-1障がい者の人権日常生活では					
下段:%		合計	1保障されている	2どちらかとい えば保障され ている	3どちらかとい えば保障され てない	4保障されてない	5わからない
問8-2 広報紙 の記事を読ん だことがあるか	全体	1826 100.0	182 10.0	776 42.5	416 22.8	142 7.8	310 17.0
	1.読んだこと がある	1223 100.0	110 9.0	545 44.6	303 24.8	89 7.3	176 14.4
	2.読んだこと がない	509 100.0	58 11.4	201 39.5	98 19.3	47 9.2	105 20.6
	3.広報紙を見 たことがない	94 100.0	14 14.9	30 31.9	15 16.0	6 6.4	29 30.9

広報紙の人権関連記事を読んだことがある人でどちらかといえば保障されていると、どちらかといえば保障されていない両方が多く、保障されているとわからないが少なくなっています。読んだことがない人でどちらかといえば保障されていないが少なく、わからないが多くなっています。広報紙を見たことがない人でどちらかといえば保障されているが少なく、わからないが多くなっています。

問5-1障がい者の人権日常生活では×F1性別							
上段:度数		問5-1障がい者の人権日常生活では					
下段:%		合計	1保障されている	2どちらかといえば保障されている	3どちらかといえば保障されていない	4保障されていない	5わからない
F1性別	全体	1838	189	785	413	141	310
		100.0	10.3	42.7	22.5	7.7	16.9
	男性	817	82	372	201	59	103
		100.0	10.0	45.5	24.6	7.2	12.6
	女性	1021	107	413	212	82	207
		100.0	10.5	40.5	20.8	8.0	20.3

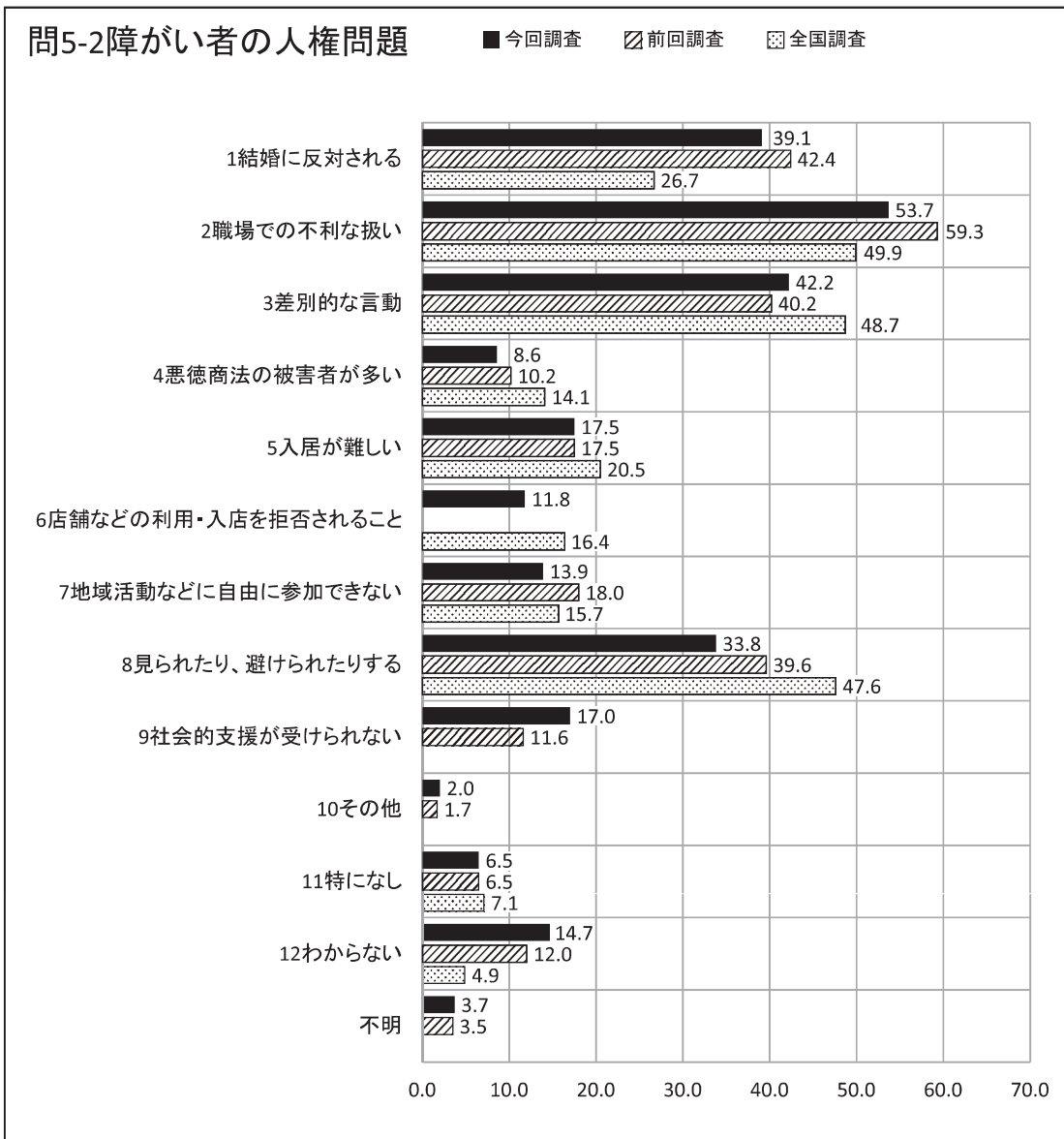
男性でどちらかといえば保障されているが多くわからないが少なくなっています。女性でどちらかといえば保障されているが少なく、わからないが多くなっています。

問5-1障がい者の人権日常生活では×F2年齢							
上段:度数		問5-1障がい者の人権日常生活では					
下段:%		合計	1保障されている	2どちらかといえば保障されている	3どちらかといえば保障されていない	4保障されていない	5わからない
F2年齢	全体	1858	187	795	418	143	315
		100.0	10.1	42.8	22.5	7.7	17.0
	18～19	16	1	7	3	1	4
		100.0	6.3	43.8	18.8	6.3	25.0
	20～29	106	12	31	35	9	19
		100.0	11.3	29.2	33.0	8.5	17.9
	30～39	214	15	81	55	22	41
		100.0	7.0	37.9	25.7	10.3	19.2
	40～49	268	27	105	67	22	47
		100.0	10.1	39.2	25.0	8.2	17.5
	50～59	322	31	134	80	22	55
		100.0	9.6	41.6	24.8	6.8	17.1
	60～69	393	35	159	98	34	67
		100.0	8.9	40.5	24.9	8.7	17.0
	70～79	349	39	183	51	23	53
		100.0	11.2	52.4	14.6	6.6	15.2
	80以上	190	27	95	29	10	29
		100.0	14.2	50.0	15.3	5.3	15.3

20歳代でどちらかといえば保障されていないが多く、どちらかといえば保障されているが少なくなっています。70歳代と80歳以上でどちらかといえば保障されているが多く、どちらかといえば保障されていないが少なくなっています。80歳以上で保障されているが多くなっています。

(3)障がい者の人権問題

No.	問5-2障がい者の人権問題	(MA)	(全体)%	前回調査	(除不)%	全国調査
	カテゴリ	件数				
1	結婚に反対される	780	39.1	42.4	40.6	26.7
2	職場での不利な扱い	1072	53.7	59.3	55.8	49.9
3	差別的な言動	843	42.2	40.2	43.9	48.7
4	悪徳商法の被害者が多い	172	8.6	10.2	8.9	14.1
5	入居が難しい	349	17.5	17.5	18.2	20.5
6	店舗などの利用・入店を拒否されること	235	11.8		12.2	16.4
7	地域活動などに自由に参加できない	278	13.9	18.0	14.5	15.7
8	見られたり、避けられたりする	675	33.8	39.6	35.1	47.6
9	社会的支援が受けられない	339	17.0	11.6	17.6	
10	その他	40	2.0	1.7	2.1	
11	特になし	129	6.5	6.5	6.7	7.1
12	わからない	294	14.7	12.0	15.3	4.9
	不明	74	3.7	3.5		
	N(%ベース)	1996	100	1711	1922	1758



障がい者に関する事で、現在どのような人権問題があると思いますか、次の中からいくつでも選んでくださいという質問について、就職・職場で不利な扱いをされること53.7%(前回59.3%)、差別的な取扱・言動をされること42.2%(40.2%)、結婚問題で周囲の反対を受けること39.1%(42.4%)、じろじろ見られたり避けられたりすること33.8%(39.6%)、アパート等の入居を拒否されること17.5%(17.5%)、必要な社会的支援を受けられないこと17.0%(11.6%)、スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと13.9%(18.0%)、宿泊施設・公共交通機関・店舗などの利用・入店を拒否されること11.8%(前回項目なし)、悪徳商法の被害者が多いこと8.6%(10.2%)、わからない14.7%(12.0%)、特になし6.5%(6.5%)、その他2.0%(1.7%)、不明(無記入)3.7%(3.5%)となっています。

前回と比べ、就職・職場で不利な扱い、見られたり避けられたりすること、地域活動に自由に参加できないことが減っていますが、社会的支援が受けられないことは増えています。

不明(無記入)を除いて全国(内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成28年)と比べると、就職・職場で不利な扱いをされること55.8%(49.9%)、結婚問題で周囲の反対を受けること40.6%(26.7%)が全国より多く、差別的な言動をされること43.9%(48.7%)、じろじろ見られたり避けられたりすること35.1%(47.6%)は全国より少なくなっています。

問5-2障がい者の人権問題×F1性別+F2年齢+F3職業														
%	問5-2障がい者の人権問題													
	合計	1結婚に反対される	2職場での不利な扱い	3差別的な取扱い・言動	4悪徳商法の被害が多い	5アパート等への入居を拒否される	6店舗などの利用・入店を拒否されること	7地域活動・文化・スポーツ活動などに自由に参加できない	8じろじろ見られたり避けられたりする	9必要な社会的支援が受けられない	10その他	11特になし	12わからない	
F1性別	全体	1922	40.6	55.8	43.9	8.9	18.2	12.2	14.5	35.1	17.6	2.1	6.7	15.3
	男性	826	40.8	56.5	42.0	7.9	15.5	11.6	15.7	34.1	17.3	1.6	6.5	14.2
	女性	1042	40.3	56.0	45.6	9.9	20.4	12.6	13.4	36.4	17.3	2.4	6.2	16.3
F2年齢	全体	1922	40.6	55.8	43.9	8.9	18.2	12.2	14.5	35.1	17.6	2.1	6.7	15.3
	18～19	16	31.3	62.5	68.8	6.3	12.5	12.5	12.5	50.0	12.5	-	-	6.3
	20～29	106	42.5	64.2	58.5	10.4	17.9	13.2	15.1	56.6	17.0	0.9	2.8	9.4
	30～39	214	43.0	62.6	53.7	7.5	17.3	14.0	17.3	45.8	22.4	1.9	2.8	12.6
	40～49	264	37.5	53.4	49.6	11.4	15.2	14.0	16.7	39.4	18.2	2.3	3.0	15.5
	50～59	324	42.3	58.0	48.1	8.6	20.7	13.6	16.4	34.9	16.7	2.2	6.8	13.6
	60～69	398	45.0	63.1	42.7	8.0	22.9	11.8	12.8	34.9	19.1	1.3	7.5	12.3
	70～79	356	39.3	52.5	34.6	9.8	16.0	11.5	14.3	27.0	16.9	3.4	7.0	18.3
	80以上	214	32.2	37.9	27.1	8.4	15.9	7.0	9.8	22.9	11.7	0.9	14.0	25.7
F3職業	全体	1922	40.6	55.8	43.9	8.9	18.2	12.2	14.5	35.1	17.6	2.1	6.7	15.3
	1.自営業	227	41.4	52.9	38.3	5.7	12.3	7.5	9.7	25.1	12.3	3.5	9.7	16.3
	2.企業・正社員	439	40.5	58.5	47.2	8.7	17.5	13.0	17.5	43.3	18.7	1.8	4.3	12.3
	3.契約・派遣社員	57	47.4	61.4	56.1	14.0	21.1	19.3	21.1	47.4	17.5	-	1.8	17.5
	4.公務員	69	46.4	66.7	56.5	4.3	17.4	15.9	31.9	43.5	21.7	-	4.3	2.9
	5.教職員	38	57.9	76.3	78.9	15.8	28.9	18.4	21.1	50.0	23.7	5.3	-	-
	6.臨時・パート・アルバイト	271	42.4	59.0	46.9	8.5	21.4	12.2	9.6	33.9	18.8	1.8	4.4	15.5
	7.家事専業	364	39.0	54.1	38.5	11.8	23.1	13.5	14.6	34.1	18.1	3.0	6.9	18.7
	8.無職	276	34.1	51.4	38.0	6.9	13.0	8.3	10.9	27.2	14.9	1.1	10.1	18.5
	9.学生	26	26.9	57.7	57.7	11.5	11.5	7.7	11.5	53.8	7.7	-	-	11.5
10.その他	121	44.6	49.6	39.7	10.7	20.7	16.5	18.2	31.4	21.5	1.7	10.7	18.2	

女性でアパートなどへの入居が難しいが多くなっています。

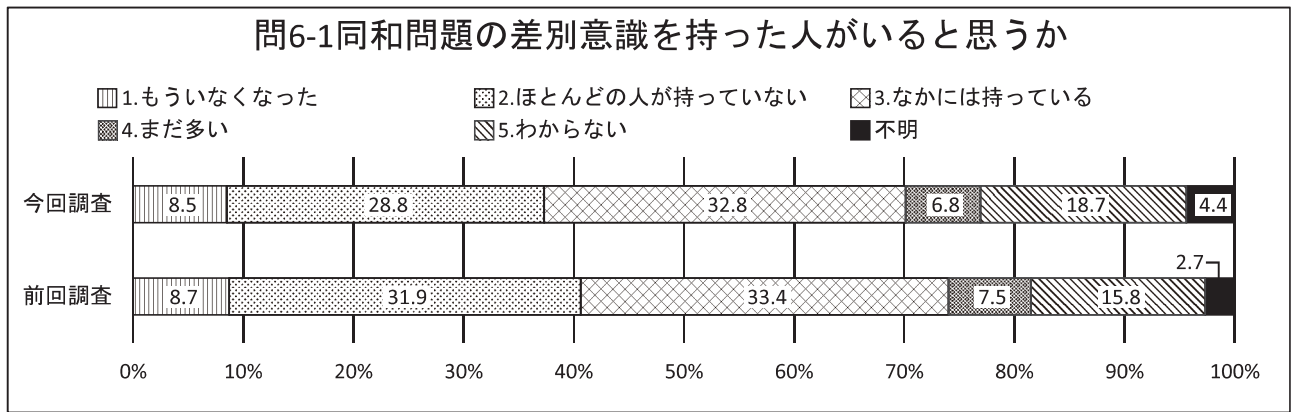
結婚に反対されるが60歳代で、職場での不利な扱いは20歳代・30歳代・60歳代で多く、差別的言動は50歳未満で多くなっています。じろじろ見られたり避けられたりするは20歳代・30歳代で多くなっています。

結婚に反対されるが教職員で、職場での不利な扱いは公務員・教職員で、差別的言動は公務員・教職員・契約・派遣社員で多くなっています。アパートなどへの入居が難しいは家事専業、地域活動などに自由に参加できないは企業の正社員、公務員で、じろじろ見られたり避けられたりするは企業の正社員、契約・派遣社員、教職員、学生で多くなっています。

8、同和問題(部落差別問題)

(1)差別意識を持った人はまだいると思いますか

問6-1同和問題の差別意識を持った人がいると思うか		(SA)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	もういなくなった	170	8.5	8.7	8.9
2	ほとんどの人が持っていない	574	28.8	31.9	30.1
3	なかには持っている	655	32.8	33.4	34.3
4	まだ多い	136	6.8	7.5	7.1
5	わからない	374	18.7	15.8	19.6
	不明	87	4.4	2.7	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1909



同和地区の人を見下したり、排除しようとする差別意識を持った人がいると思いますか。という質問について、差別意識を持っている人はもういなくなった8.5%(8.7%)、ほとんどの人が差別意識は持っていない28.8%(31.9%)、なかには差別意識を持っている人がいる32.8%(33.4%)、差別意識を持っている人はまだ多い6.8%(7.5%)、わからない18.7%(15.8%)、不明(無記入)4.4%(2.7%)となっています。前回と比べると、ほとんど変化がありません。

性別、年齢別、職業別、小学校で人権教育を受けたか、人権課題の映画・テレビ・ラジオを視聴したか、人権課題の講演会・研修・学習会に参加したかに関連しています。人権課題の講演会・研修・学習会に参加したか、人権課題の映画・テレビ・ラジオを視聴したか、小学校で人権教育を受けたかと強い関連があります。

上段:度数		問6-1同和問題の差別意識を持った人がいると思うか					
下段:%		合計	1.もういなくなった	2.ほとんどの人が持っていない	3.なかには持っている	4.まだ多い	5.わからない
問8-4人権各課題についての講演会・研修・学習会に何回参加したか	全体	1869	165	563	644	134	363
		100.0	8.8	30.1	34.5	7.2	19.4
	1回もない	906	98	274	239	47	248
		100.0	10.8	30.2	26.4	5.2	27.4
	1~2	450	44	144	166	23	73
		100.0	9.8	32.0	36.9	5.1	16.2
	3~4	203	12	76	81	15	19
		100.0	5.9	37.4	39.9	7.4	9.4
	5~6	100	6	24	45	16	9
		100.0	6.0	24.0	45.0	16.0	9.0
7~9	30	-	5	16	6	3	
	100.0	-	16.7	53.3	20.0	10.0	
10回以上	180	5	40	97	27	11	
	100.0	2.8	22.2	53.9	15.0	6.1	

人権関連の講演会・研修・学習会に参加したことがない人で差別意識を持った人はいなくなったとわからないが多くなっています。5回以上参加した人でなかには差別意識を持っている人がいると差別意識を持っている人はまだ多いが多くなっています。

問6-1同和問題の差別意識を持った人がいると思うか×問8-3人権の各課題についての映画やテレビ番組、ラジオ放送などを、見たり聞いたりしたことがあるか							
上段:度数		問6-1同和問題の差別意識を持った人がいると思うか					
下段:%		合計	1.もういなくなった	2.ほとんどの人が持っていない	3.なかには持っている	4.まだ多い	5.わからない
問8-3人権の各課題についての映画やテレビ番組、ラジオ放送などを、見たり聞いたりしたことがあるか	全体	1865	165	561	641	134	364
		100.0	8.8	30.1	34.4	7.2	19.5
	1ある	1244	93	393	476	97	185
		100.0	7.5	31.6	38.3	7.8	14.9
	2ない	621	72	168	165	37	179
		100.0	11.6	27.1	26.6	6.0	28.8

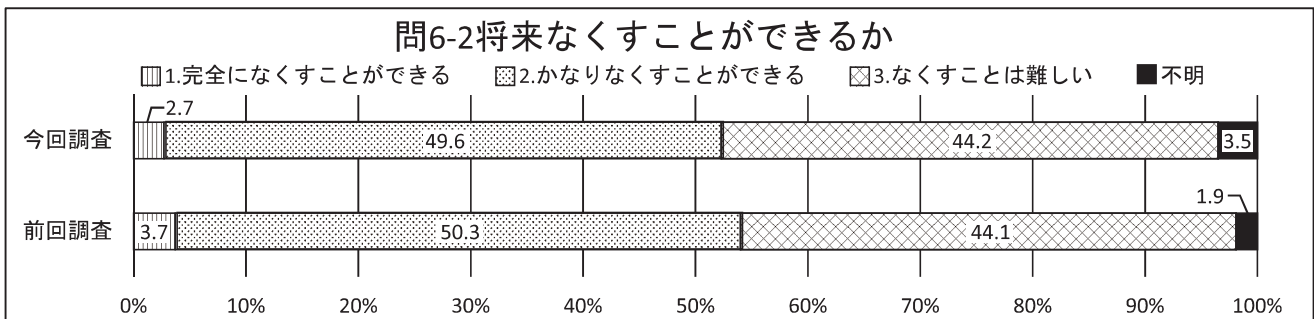
人権課題の映画・テレビ・ラジオを視聴した人でなかには差別意識を持った人がいるとほとんどの人が差別意識を持っていないが多く、視聴したことがない人で差別意識を持った人はもういなくなったとわからないが多くなっています。

問6-1同和問題の差別意識を持った人がいると思うか×問8-1小学校で人権教育を受けたか							
上段:度数		問6-1同和問題の差別意識を持った人がいると思うか					
下段:%		合計	1.もういなくなった	2.ほとんどの人が持っていない	3.なかには持っている	4.まだ多い	5.わからない
問8-1小学校で人権教育を受けたか	全体	1724	148	509	610	127	330
		100.0	8.6	29.5	35.4	7.4	19.1
	1.かなり学んだ	142	13	33	63	12	21
		100.0	9.2	23.2	44.4	8.5	14.8
	2.少し学んだ	874	66	261	326	56	165
		100.0	7.6	29.9	37.3	6.4	18.9
	3.全く学んでいない	675	64	211	216	56	128
		100.0	9.5	31.3	32.0	8.3	19.0
	4.行っていない	33	5	4	5	3	16
		100.0	15.2	12.1	15.2	9.1	48.5

小学校で人権教育をかなり受けた人でなかには差別意識を持っている人がいるが多く、全く学んでいない人でなかには差別意識を持っている人がいるが少なくなっています。

(2) 将来なくすことはできると思いますか

No.	問6-2将来なくすことができるか カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	完全になくすことができる	21	2.7	3.7	2.8
2	かなりなくすことができる	392	49.6	50.3	51.4
3	なくすことは難しい	350	44.2	44.1	45.9
	不明	28	3.5	1.9	
	N(%ベース)	791	100	700	763



「なかには差別意識を持っている人がいる」、「差別意識を持っている人はまだ多い」を選んだ方に、差別意識は近い将来なくすことができると思いますかと質問しました。該当者が791人で、完全になくすことができる2.7%(3.7%)、かなりなくすことができる49.6%(50.3%)、なくすことは難しい44.2%(44.1%)、不明(無記入)3.5%(1.9%)です。前回と比べ、ほとんど変化がありません。

性別、年齢別、職業別と関連があります。年齢別、職業別と強い関連があります。

問6-2将来なくすことができるか×F2年齢					
上段:度数		問6-2将来なくすことができるか			
下段:%		合計	1.完全になくすことができる	2.かなりなくすことができる	3.なくすことは難しい
F2年齢	全体	749	20	386	343
		100.0	2.7	51.5	45.8
	18~19	8	1	3	4
		100.0	12.5	37.5	50.0
	20~29	41	1	18	22
		100.0	2.4	43.9	53.7
	30~39	73	2	32	39
		100.0	2.7	43.8	53.4
	40~49	125	3	49	73
		100.0	2.4	39.2	58.4
	50~59	145	2	79	64
		100.0	1.4	54.5	44.1
	60~69	176	4	93	79
		100.0	2.3	52.8	44.9
	70~79	128	4	77	47
		100.0	3.1	60.2	36.7
	80以上	53	3	35	15
		100.0	5.7	66.0	28.3

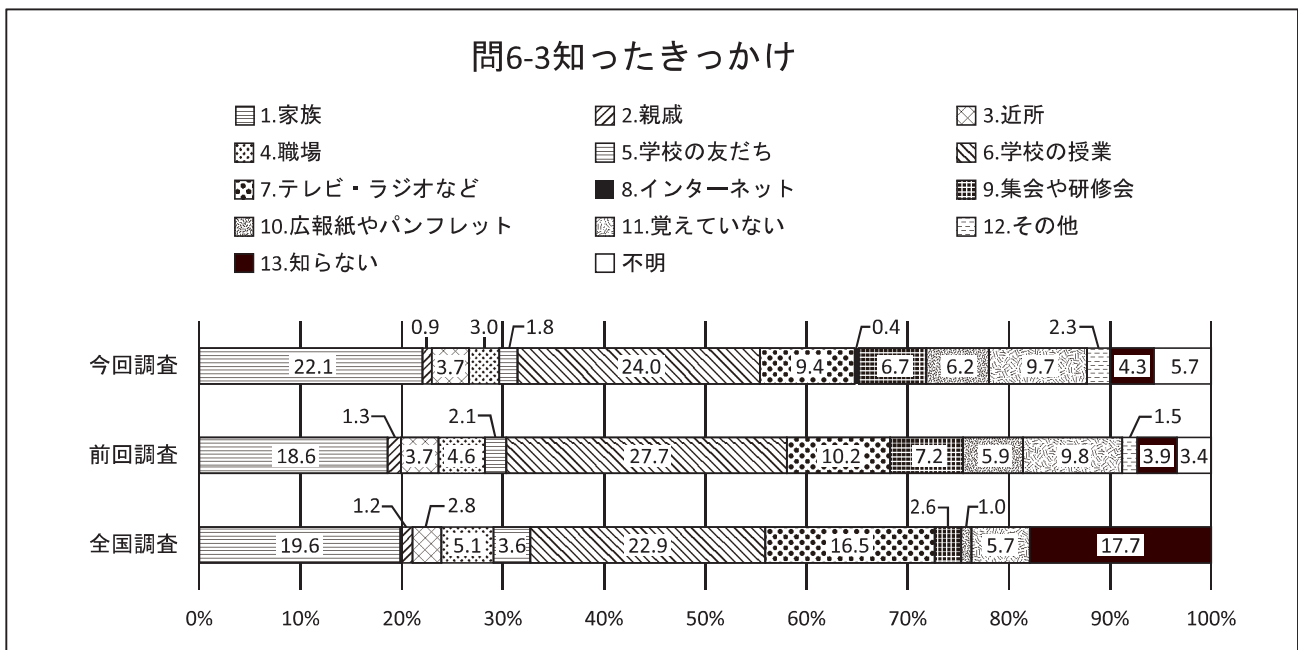
40歳代でなくすことは難しいが多く、70歳と80歳以上でかなりなくすことができるが多くなっています。

問6-2将来なくすことができるか×F3職業					
上段:度数		問6-2将来なくすことができるか			
下段:%		合計	1.完全になくすことができる	2.かなりなくすことができる	3.なくすことは難しい
F3職業	全体	750	20	389	341
		100.0	2.7	51.9	45.5
	1.自営業	81	1	44	36
		100.0	1.2	54.3	44.4
	2.企業・正社員	176	5	85	86
		100.0	2.8	48.3	48.9
	3.契約・派遣社員	22	-	6	16
		100.0	-	27.3	72.7
	4.公務員	37	-	16	21
		100.0	-	43.2	56.8
	5.教職員	29	-	18	11
		100.0	-	62.1	37.9
	6.臨時・パート・アルバイト	116	1	59	56
		100.0	0.9	50.9	48.3
7.家事専業	131	6	73	52	
	100.0	4.6	55.7	39.7	
8.無職	105	5	60	40	
	100.0	4.8	57.1	38.1	
9.学生	12	-	5	7	
	100.0	-	41.7	58.3	
10.その他	41	2	23	16	
	100.0	4.9	56.1	39.0	

契約・派遣社員でなくすことは難しいが多くなっています。

(3) 知ったきっかけ

No.	問6-3知ったきっかけ		(全体)%	前回調査	(除不)%	全国調査
	カテゴリ	件数				
1	家族	441	22.1	18.6	23.4	19.6
2	親戚	17	0.9	1.3	0.9	1.2
3	近所	73	3.7	3.7	3.9	2.8
4	職場	59	3.0	4.6	3.1	5.1
5	学校の友だち	35	1.8	2.1	1.9	3.6
6	学校の授業	479	24.0	27.7	25.5	22.9
7	テレビ・ラジオなど	188	9.4	10.2	10.0	16.5
8	インターネット	8	0.4		0.4	
9	集会や研修会	133	6.7	7.2	7.1	2.6
10	広報紙やパンフレット	124	6.2	5.9	6.6	1.0
11	覚えていない	194	9.7	9.8	10.3	5.7
12	その他	45	2.3	1.5	2.4	
13	知らない	86	4.3	3.9	4.6	17.7
	不明	114	5.7	3.4		
	N(%ベース)	1996	100	1711	1882	1758



同和問題を初めて知ったきっかけは何ですか。との質問に、学校の授業で習った24.0%(前回27.7%)、家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた22.1%(18.6%)、テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った9.4%(10.2%)、同和問題は知っているがきっかけは覚えていない9.7%(9.8%)、同和問題の集会や研修会で知った6.7%(7.2%)、県や市町村の広報紙やパンフレット等で知った6.2%(5.9%)、近所の人から聞いた3.7%(3.7%)、職場の人から聞いた3.0%(4.6%)、学校の友だちから聞いた1.8%(2.1%)、親戚の人から聞いた0.9%(1.3%)、その他2.3%(1.5%)、同和問題を知らない4.3%(3.9%)、不明(無記入)5.7%(3.4%)となっています。

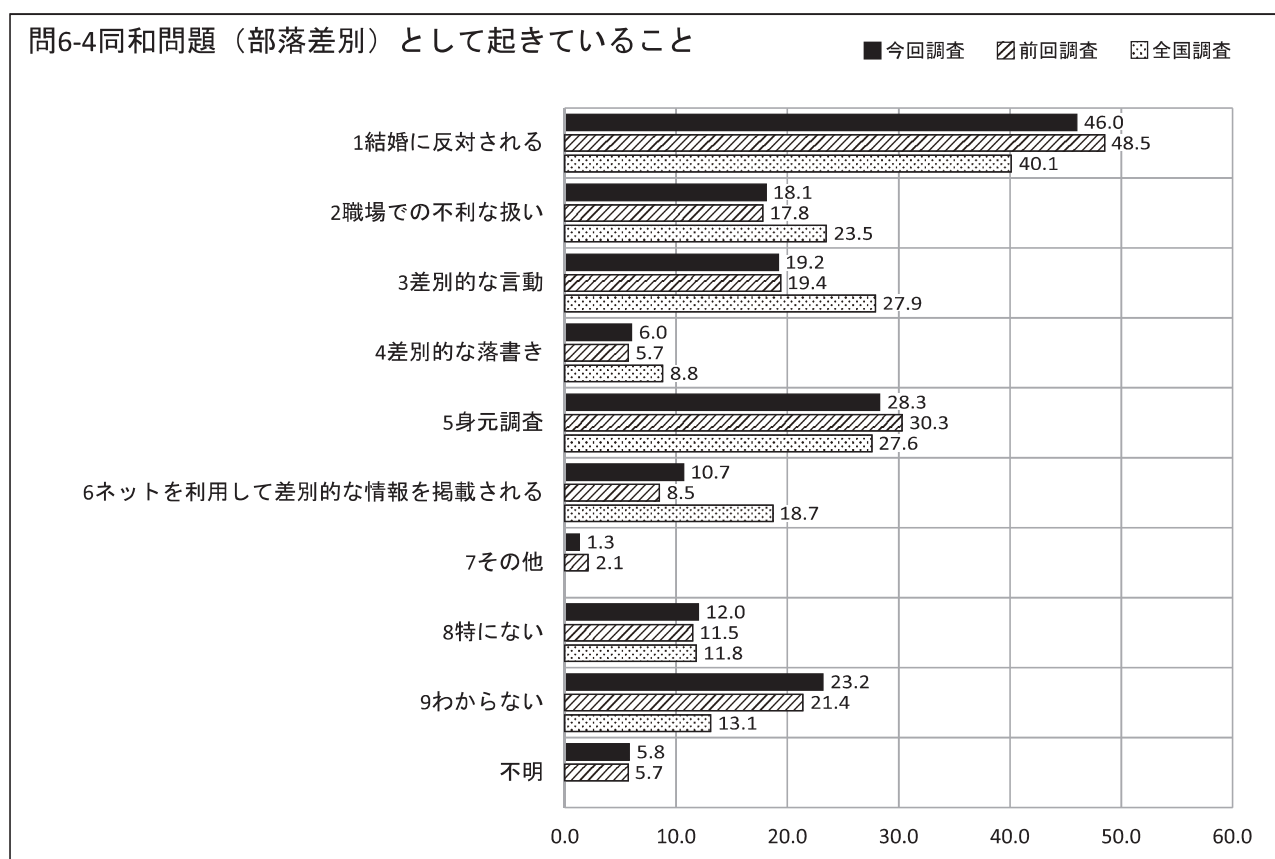
前回と比べると、学校の授業で習ったが少し減って、家族から聞いたが少し増えています。

不明を除き、全国(内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成28年)と比べると、学校の授業で習った25.5%(22.9%)、家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた23.4%(19.6%)、集会や研修会で知った7.1%(2.6%)、県や市町村の広報紙やパンフレット等で知った6.6%(1.0%)が多く、テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った10.0%(16.5%)が少なくなっています。

同和問題を知ったきっかけについて有意な関連を示す項目はありませんでした。

(4) 同和問題として起きていること

No.	問6-4同和問題(部落差別)として起きていること カテゴリ	(MA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%	全国調査
1	結婚に反対される	827	46.0	48.5	48.9	40.1
2	職場での不利な扱い	325	18.1	17.8	19.2	23.5
3	差別的な言動	344	19.2	19.4	20.3	27.9
4	差別的な落書き	108	6.0	5.7	6.4	8.8
5	身元調査	508	28.3	30.3	30.0	27.6
6	ネットを利用して差別的な情報を掲載される	193	10.7	8.5	11.4	18.7
7	その他	23	1.3	2.1	1.4	
8	特にな	215	12.0	11.5	12.7	11.8
9	わからない	417	23.2	21.4	24.6	13.1
	不明	104	5.8	5.7		
	N(%ベース)	1796	100	1586	1692	1447



同和問題(部落差別問題)を知っているとした人(該当者1796人)に、同和問題として現在起きていると思うことをいくつかも選んでもらいました。結婚に反対されること46.0%(前回48.5%)、身元調査をされること28.3%(30.3%)、差別的な言動をされること19.2%(19.4%)、就職・職場で不利な扱いをされること18.1%(17.8%)、インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること10.7%(8.5%)、差別的な落書きをされること6.0%(5.7%)、その他1.3%(2.1%)、特にな12.0%(11.5%)、わからない23.2%(21.4%)、不明(無記入)5.8%(5.7%)となっています。前回とほとんど大きな変化はありません。

不明(無記入)を除いて、全国(内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成28年)と比べると、結婚に反対されること48.9%(全国40.1%)、身元調査をされること30.0%(27.6%)が多く、差別的な言動をされること20.3%(27.9%)、インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること11.4%(18.7%)は少なくなっています。

問6-4同和問題(部落差別)として起きていること×F1性別+F2年齢+F3職業											
%		問6-4同和問題(部落差別)として起きていること									
		合計	1結婚に 反対される	2職場で の不利な 扱い	3差別 的な言 動	4差別的 な落書 き	5身元 調査	6ネットを利用して 差別的な情報を 掲載される	7そ の他	8特 に ない	9わ か ら ない
F1 性 別	全体	1692	48.9	19.2	20.3	6.4	30.0	11.4	1.4	12.7	24.6
	男性	716	45.9	18.9	20.5	7.7	26.7	13.4	1.8	14.7	24.0
	女性	933	51.4	19.6	20.2	5.5	32.6	10.3	1.0	10.7	25.5
F2 年 齢	全体	1692	48.9	19.2	20.3	6.4	30.0	11.4	1.4	12.7	24.6
	18～19	12	66.7	25.0	41.7	-	66.7	25.0	-	-	8.3
	20～29	85	50.6	28.2	35.3	14.1	36.5	20.0	1.2	4.7	23.5
	30～39	181	56.9	25.4	32.0	9.4	32.0	18.2	0.6	6.6	23.8
	40～49	237	49.8	22.4	27.8	6.3	34.6	19.0	1.3	7.2	22.8
	50～59	303	54.1	24.1	24.1	8.9	31.7	12.2	2.0	8.6	23.4
	60～69	360	50.6	16.1	13.6	6.4	33.9	10.3	0.6	14.4	24.2
	70～79	305	39.0	15.1	11.5	3.6	20.7	3.6	1.3	21.0	30.5
80以上	185	42.7	9.2	11.9	1.6	21.1	4.9	2.7	18.9	24.9	
F3 職 業	全体	1692	48.9	19.2	20.3	6.4	30.0	11.4	1.4	12.7	24.6
	1.自営業	199	44.2	12.1	15.6	2.0	22.1	9.0	2.5	14.6	29.1
	2.企業・正社員	395	46.6	19.5	23.8	3.5	26.3	8.9	1.5	11.6	25.3
	3.契約・派遣社員	49	51.0	24.5	28.6	10.2	40.8	16.3	2.0	4.1	26.5
	4.公務員	66	65.2	40.9	34.8	28.8	45.5	43.9	1.5	4.5	13.6
	5.教職員	36	88.9	58.3	55.6	44.4	63.9	63.9	-	2.8	-
	6.臨時・パート・アルバイト	234	54.7	24.8	23.5	7.7	35.9	13.2	0.9	9.8	22.2
	7.家事専業	323	47.7	15.2	14.6	3.4	31.0	6.2	0.9	13.6	28.2
	8.無職	242	41.7	13.2	15.3	5.4	23.1	6.2	1.7	14.5	29.8
	9.学生	21	66.7	23.8	23.8	-	52.4	19.0	-	-	14.3
10.その他	101	49.5	16.8	11.9	6.9	28.7	7.9	-	21.8	16.8	

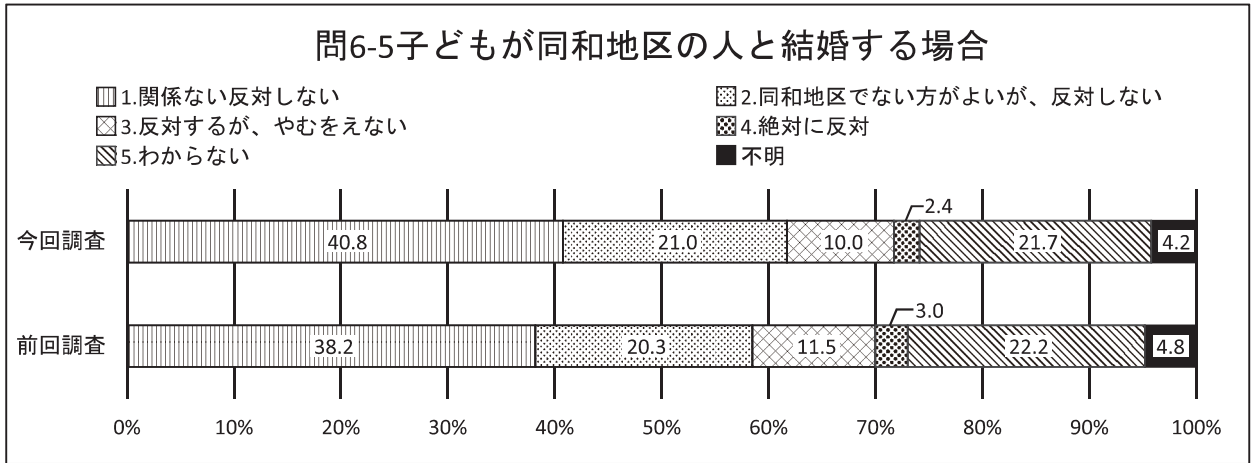
結婚に反対される、職場での不利な扱い、身元調査など男性より女性で多いです。

結婚に反対されるは30歳代、50歳代で、職場での不利な扱いは20歳代、30歳代、50歳代で多くなっています。差別的言動は20歳代から50歳代で多く、60歳以上で少なくなっています。差別的落書きは20歳代、50歳代で多く、70歳以上で少なくなっています。身元調査は18～19歳、40歳代、60歳代で多く、70歳以上で少なくなっています。ネットを利用して差別的な情報を掲載されるは20歳代、30歳代、40歳代で多く、70歳以上で少なくなっています。

結婚に反対されるは教職員、公務員で多く、無職で少なくなっています。職場での不利な扱いは教職員、公務員、臨時・パート・アルバイトで多く、自営業、家事専業、無職で少なくなっています。差別的言動は教職員、公務員、企業の正社員で多く、無職で少なくなっています。差別的落書きは教職員、公務員で多く、自営業、企業の正社員、家事専業で少なくなっています。身元調査は教職員、公務員、臨時・パート・アルバイトで多く、自営業、無職で少なくなっています。ネットを利用して差別的な情報を掲載されるは教職員、公務員で多く、家事専業、無職で少なくなっています。

(5) 子どもの結婚

問6-5子どもが同和地区の人と結婚する場合		(SA)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	関係ない反対しない	814	40.8	38.2	42.6
2	同和地区でない方がよいが、反対しない	419	21.0	20.3	21.9
3	反対するが、やむをえない	199	10.0	11.5	10.4
4	絶対に反対	48	2.4	3.0	2.5
5	わからない	433	21.7	22.2	22.6
	不明	83	4.2	4.8	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1913



あなたのお子さんが同和地区の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか(どうすると思いますか)、という質問について、同和地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない40.8%(前回38.2%)、できれば同和地区の人でない方がよいが、反対はしない21.0%(20.3%)、反対するが、本人の意思が強ければやむをえない10.0%(11.5%)、絶対に反対する2.4%(3.0%)、わからない21.7%(22.2%)、不明(無記入)4.2%(4.8%)となっています。

前回と比べると、関係ない反対などしない、同和地区の人でない方がよいが、反対はしないが少し増えています。

あなたのお子さんが同和地区の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますかについて、職業別、人権課題の講演会・研修・学習会に参加したかに関連があります。人権課題の講演会・研修・学習会に参加したかと職業別両方とも強い関連があります。

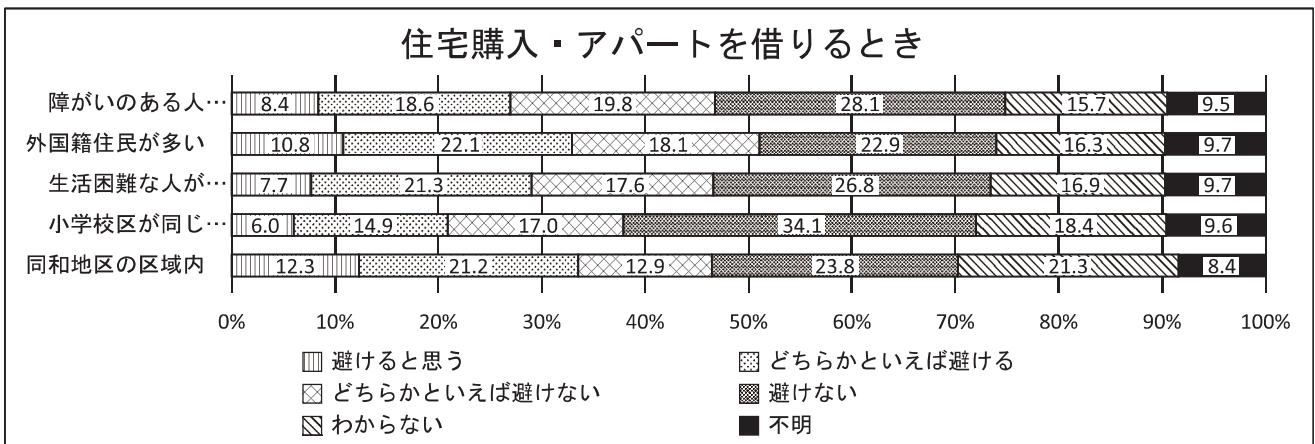
上段:度数		問6-5子どもが同和地区の人と結婚する場合					
下段:%	合計	1.関係ない 反対しない	2.同和地区で ない方がよい が、反対しない	3.反対する が、やむを えない	4.絶対に 反対	5.わか らない	
問8-4人権各課題についての講演会・研修・学習会に何回参加したか	全体	1871	798	412	190	46	425
		100.0	42.7	22.0	10.2	2.5	22.7
	1回も ない	909	352	177	90	28	262
		100.0	38.7	19.5	9.9	3.1	28.8
	1~2	450	178	122	56	5	89
		100.0	39.6	27.1	12.4	1.1	19.8
	3~4	203	99	51	19	6	28
		100.0	48.8	25.1	9.4	3.0	13.8
	5~6	99	42	24	12	1	20
		100.0	42.4	24.2	12.1	1.0	20.2
	7~9	30	18	6	1	1	4
		100.0	60.0	20.0	3.3	3.3	13.3
	10回 以上	180	109	32	12	5	22
		100.0	60.6	17.8	6.7	2.8	12.2

人権課題の講演会・研修・学習会に参加したことがない人ではわからないが多く、そのことは関係ない反対はしない・同和地区の人ではない方がいいが反対はしないが少なく、1~2回参加の人で同和地区の人ではない方がいいが反対はしないが多く、10回以上参加した人でそのことは関係ない反対はしないが多くなっています。

上段：度数		問6-5子どもが同和地区の人と結婚する場合 × F3職業					
下段：%		問6-5子どもが同和地区の人と結婚する場合					
		合計	1.関係ない 反対しない	2.同和地区 でない方がよ いが、反対し ない	3.反対するが 、やむをえな い	4.絶対に反対	5.わからない
F3職業	全体	1880	799	413	195	47	426
		100.0	42.5	22.0	10.4	2.5	22.7
	1.自営業	230	94	54	29	6	47
		100.0	40.9	23.5	12.6	2.6	20.4
	2.企業・ 正社員	439	215	81	37	8	98
		100.0	49.0	18.5	8.4	1.8	22.3
	3.契約・ 派遣社員	55	22	14	6	1	12
		100.0	40.0	25.5	10.9	1.8	21.8
	4.公務 員	69	37	17	1	1	13
		100.0	53.6	24.6	1.4	1.4	18.8
	5.教職 員	36	25	7	3	-	1
		100.0	69.4	19.4	8.3	-	2.8
6.臨時・ パート・ア ルバイト	265	118	54	28	10	55	
	100.0	44.5	20.4	10.6	3.8	20.8	
7.家事 専業	366	139	85	46	14	82	
	100.0	38.0	23.2	12.6	3.8	22.4	
8.無職	276	94	76	25	5	76	
	100.0	34.1	27.5	9.1	1.8	27.5	
9.学生	26	13	3	1	-	9	
	100.0	50.0	11.5	3.8	-	34.6	
10.その 他	118	42	22	19	2	33	
	100.0	35.6	18.6	16.1	1.7	28.0	

教職員と企業の正社員で同和地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしないが多く、無職で同和地区の人ではない方がいいが反対はしないとわからないが多くなっています。

(6) 住宅を購入したりアパートを借りるとき同和地区の区域内



No.	問6-6-1 同和地区の区域内である カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	(除不)%
1	避けると思う	246	12.3	13.5
2	どちらかといえば避ける	424	21.2	23.2
3	どちらかといえば避けたい	257	12.9	14.1
4	避けたい	475	23.8	26.0
5	わからない	426	21.3	23.3
	不明	168	8.4	
	N(%ベース)	1996	100	1828

住宅を購入したりアパートを借りるなど不動産を選ぶとき、価格や立地条件などが希望に合っても、その他の条件により避けることがあると思いますか、という質問について、同和地区の地域内である場合が避けると思う12.3%と最も多くなっています。どちらかといえば避けるが21.2%で避けると合わせると約3分の1になります。